



地域経済動向調査報告

平成30年度 第2四半期（7～9月）

〔総論〕

「江津市の経済は、緩やかに回復している。」

	国	県
7月	景気は、緩やかに回復している。	県内経済は、平成30年7月豪雨前は、持ち直していたが、現時点では、まずは豪雨による地域への影響全体について十分に把握する必要がある
8月	景気は、緩やかに回復している。	
9月	景気は、緩やかに回復している。	
参照	内閣府「月例経済報告」	松江財務事務所「島根県の経済情勢」

〔調査要領〕

- (1) 調査時点 2018年10月31日時点
- (2) 調査方法 郵送により実施
- (3) 調査対象 当所会員名簿から業種のバランスを考慮し抽出

業種	配布数	回答数	回答率	回答構成率
全業種	100	57	57%	100%
製造	21	15	71%	26%
建設	22	17	77%	30%
運送	7	4	57%	7%
卸・小売	31	14	45%	25%
サービス	19	7	37%	12%

1. 業況

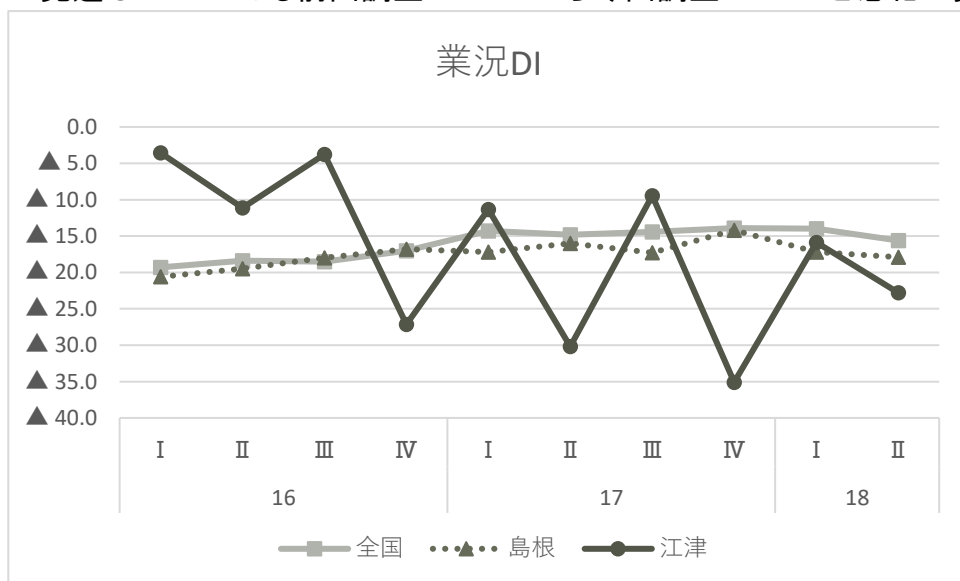
(1) 業種別の業況DI (各期間比較)

	前年同期と比べた 今期の状況	前期と比べた 今期の状況	前年同期と比べた 来期の見通し
全産業	▲ 30	▲ 23	▲ 35
製造業	▲ 20	0	▲ 20
建設業	▲ 47	▲ 35	▲ 41
運送業	▲ 50	▲ 50	▲ 50
卸小売業	▲ 21	▲ 7	▲ 36
飲食・サービス業	▲ 17	▲ 57	▲ 43

(2) 業況DIの推移 (前期比)

2018年7月から9月の業況DIは前回調査▲15.9から今回調査▲22.8とマイナス幅が拡大した。前回調査では回復基調にあったものの、本調査では緩やかな落ち込みが反映された結果となった。一部卸・小売業で好転が見られるが、全業種緩やかにマイナスに転じている。

見通しについても前回調査▲19.0から今回調査▲35.1と悪化の見込み。

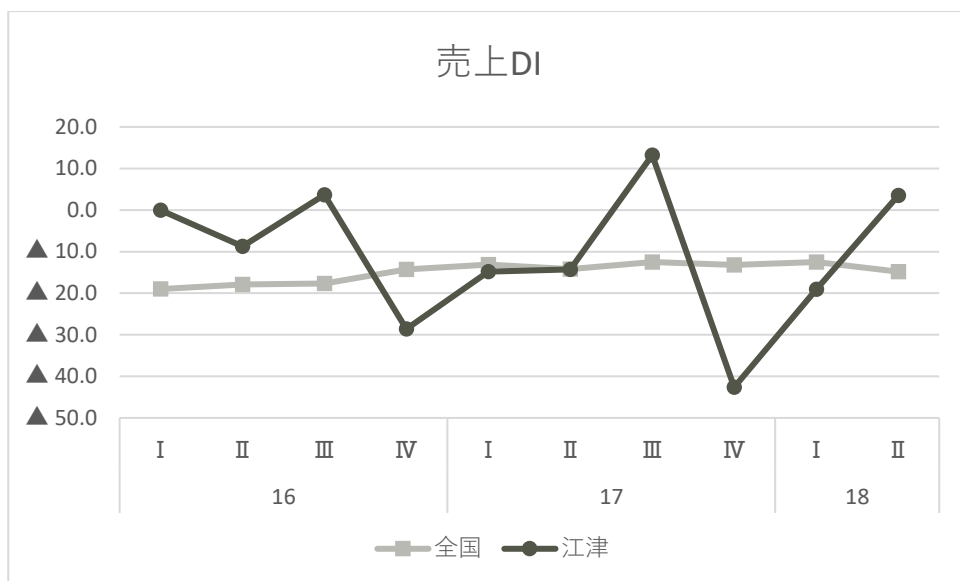


2. 売上高

(1) 売上高DIの推移 (前期比)

2018年7月から9月の売上高は前回調査▲19.0から今回調査3.5と好転した。

業種別にみると、飲食・サービス業は前回調査▲70.0から今回調査▲28.6とマイナス幅が縮小し、製造業(今回調査26.7)、卸・小売業(今回調査21.4)は好転を維持している。一方で運送業は前回調査▲16.7→今回調査▲25.0とマイナス幅が拡大した。

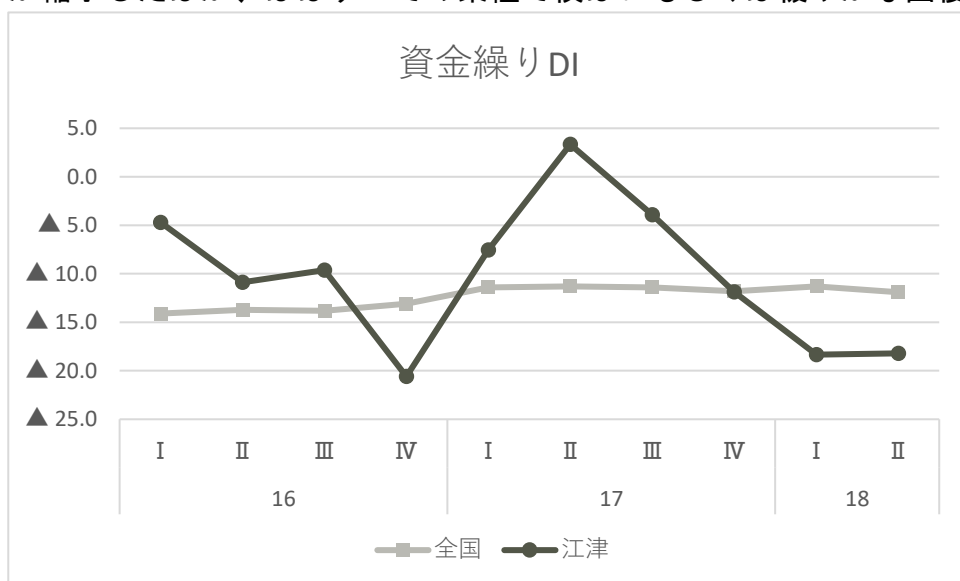


3. 資金繰り

(1) 資金繰りDIの推移（前期比）

2018年7月から9月の資金繰り状況は前回調査▲18.3から今回調査▲10.9とほぼ横ばいの状態。

業種別にみても、建設業で前回調査▲15.8→今回調査▲5.9とマイナス幅が縮小したほか、ほぼすべての業種で横ばいもしくは緩やかな回復基調にある。



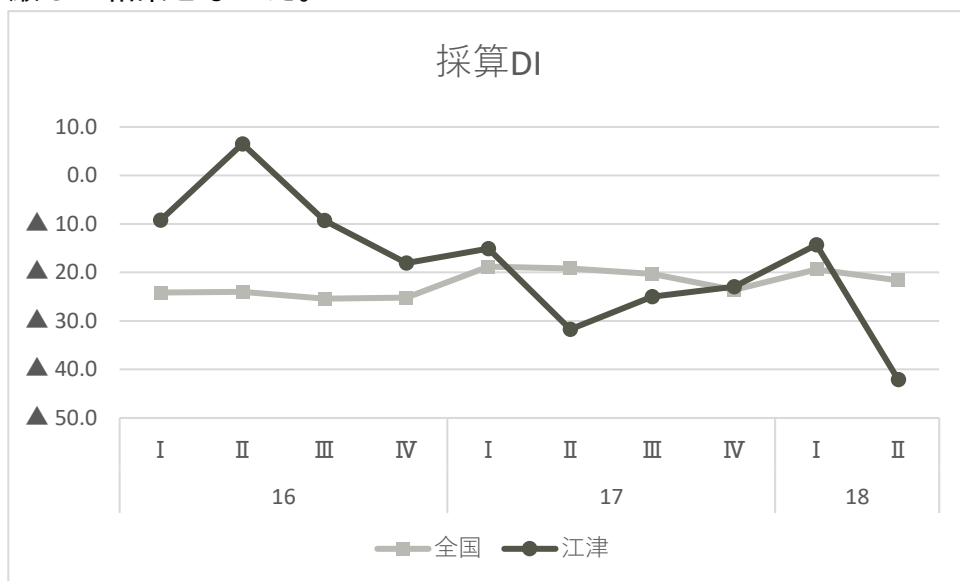
4. 採算（経常利益）

(1) 採算（経常利益）DIの推移（前年同期比）

2018年7月から9月の採算は前回調査▲14.3から今回調査▲42.1とマイナス幅が拡大した。

飲食・サービス業はほぼ横ばいの状態だったが、そのほかの業種ではマイナス幅が拡大した。特に運送業は前回調査▲33.3→今回調査▲100.0と回答のあった

全ての事業所が悪化と回答。製造業▲33.3、建設業▲58.8、卸・小売業▲21.4と
 厳しい結果となった。

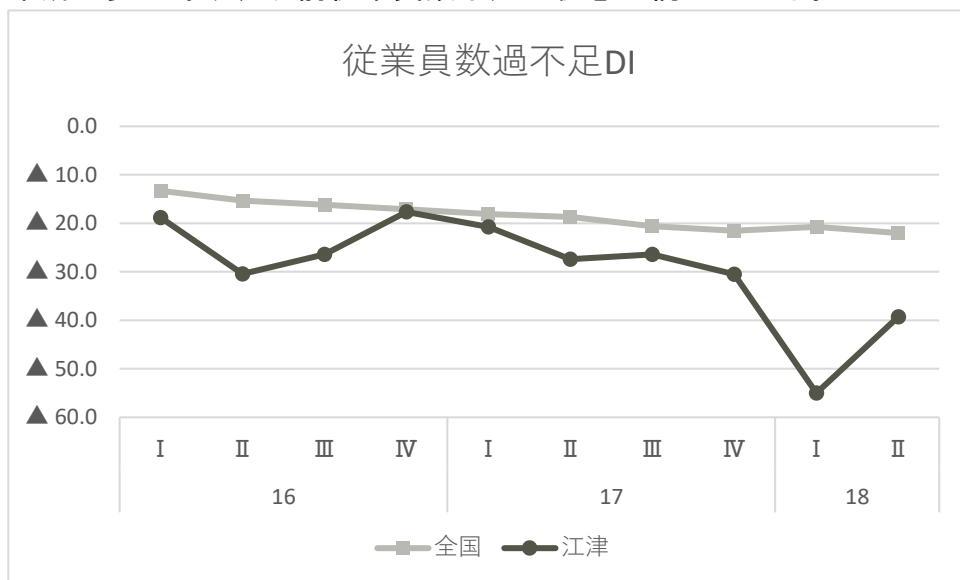


5. 従業員数過不足

(1) 従業員数過不足DIの推移（今期水準）

2018年7月から9月の従業員数過不足は前回調査▲55.0→今回調査▲39.3とマイナス幅が縮小した。特に卸・小売業では前回調査▲27.3→今回調査0と推移した。

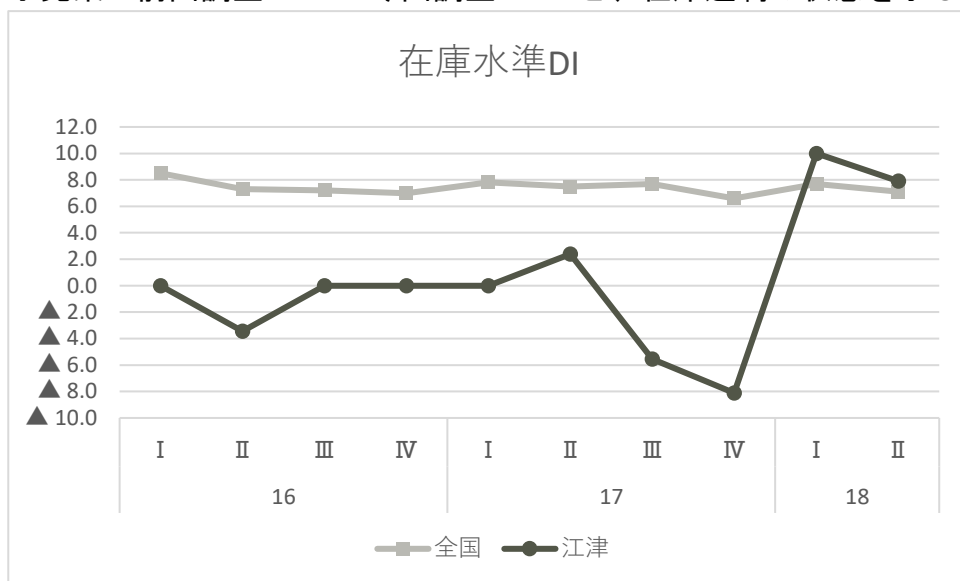
しかし、経営上の課題では従業員数確保難に加え、従業員の高齢化に触れる事業所が多くあり、以前従業員数不足の状態が続いている。



6. 在庫水準

(1) 在庫水準DIの推移（今期水準）

2018年7月から9月の在庫は、前回調査10.7から今回調査7.9と推移。卸・小売業が前回調査18.2→今回調査35.7と、在庫過剰の状態を示している。



7. 経営上の問題点

	今期直面している経営上の問題点（構成比）		
	1位（%）	2位（%）	3位（%）
製造業	仕入・材料価格の上昇 25.6	設備や店舗の不足・老朽化 23.3	従業員の確保難 18.6
建設業	従業員の確保難 24.5	競争の激化 14.3	人件費の増加 12.2
運送業	仕入・材料価格の上昇 50.0	■材料費・人件費以外の経費の増加 ■従業員の確保難 ■需要の停滞 16.7	
卸小売業	■競争の激化 ■仕入・材料価格の上昇 ■需要の停滞		17.9
飲食・サービス業	仕入・材料価格の上昇 23.5	■競争の激化 ■需要の停滞 17.6	